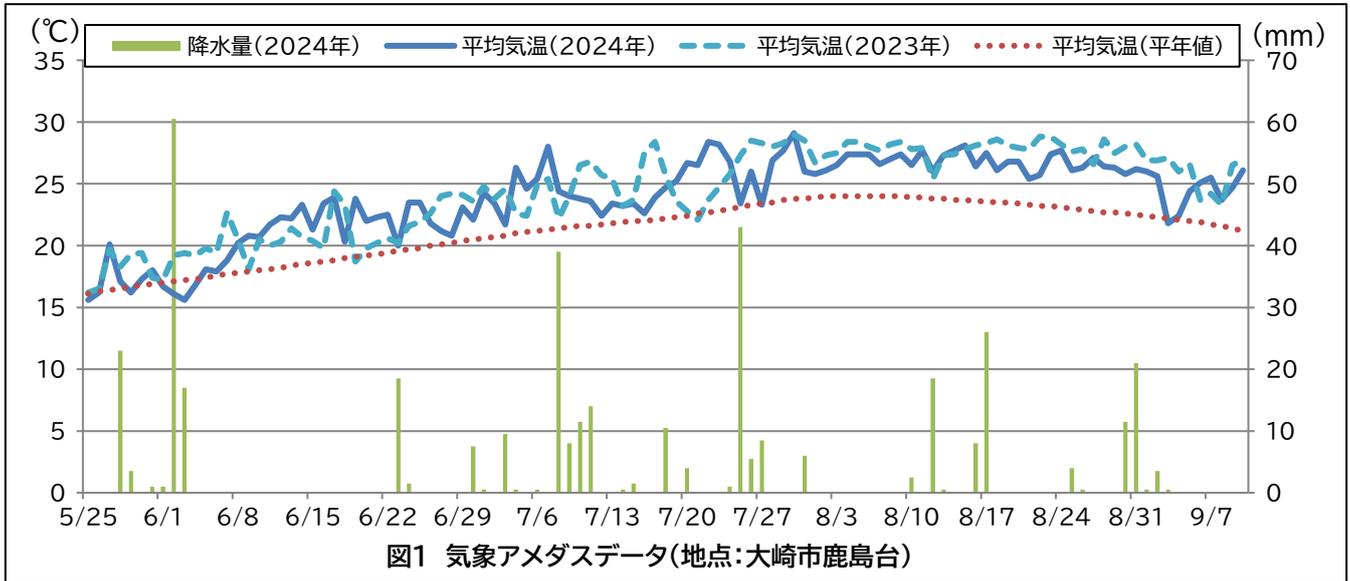




さつまいも通信 vol.3

令和6年9月20日
宮城県美里農業改良普及センター
TEL：0229-32-3115
FAX：0229-32-2225

○9月上旬までの気象経過



- ・平均気温は、6月上旬に平年をやや下回りましたが、その後は高温で推移しています。特に8月は平均気温が平年よりも約3.2℃高くなりました。
- ・降水量は、7月は平年並み、6、8月は平年よりもやや少なくなりました。特に6月は6/2に60mmを超える降雨があったものの、6/4～22までは降雨がなく、乾燥による苗の活着不良が一部のほ場で確認されました。

○収穫適期について

- ・さつまいもの収穫適期は、生育期間（定植後）の積算温度が2,700～3,000℃の時期です（一部、北海道等では2,400℃が目安）。今作では、高温で推移したため、5月下旬に定植した場合、10月初めに積算温度が3,000℃に達する予想です。
- ・在ほ期間が5か月以上経過すると、イモの貯蔵性が悪くなるため（老化イモ）、適期の収穫を心がけて、収穫が遅くなった場合は年内出荷等、早期の出荷を行ってください。
- ・10月20日以降は、霜害の発生リスクが高まります。 降霜前に収穫を行いましょう。

表1 さつまいもの収穫適期の予測

定植日	積算温度			老化イモの目安 (植付から5か月以上)
	2,500℃	2,750℃	3,000℃	
5月25日	9月7日	9月17日	9月29日	10月26日～
5月30日	9月10日	9月20日	10月3日	10月31日～
6月5日	9月14日	9月25日	10月9日	11月6日～
6月10日	9月18日	9月30日	10月15日	11月11日～
6月15日	9月23日	10月6日	10月23日	11月16日～
6月20日	9月29日	10月13日	11月3日	11月21日～

※ は霜害発生リスクあり

※鹿島台アメダスの平均気温（9月17日までは実測値、9月17日～10月11日までは気象庁の1か月予報による予測値、10月11日以降は過去10年の平均値）から予測

○試し掘りについて

★収穫適期になる前に試し掘りを行い、イモの肥大状況を確認してから、収穫作業に入りましょう。

< 試し掘りの方法 >

- ・ 畝の端から **3 m以上内側** で、地上部の生育が中庸で欠株のない場所を 2～3 株掘る
→ **200～500 g のイモが多く** になってきたら収穫適期

※ 枕地や畝の端などはイモが肥大しやすいため避ける。

※ イモを植える向きによって肥大が異なるため、隣り合う 2 畝を掘るとより正確に判断できる。

○収穫・貯蔵のポイント

➤ **収穫はできるだけほ場が乾いた日に行く**

→ 土壌水分が多いと皮ムケの発生や貯蔵性の低下の原因になります

➤ **降霜前（10月20日までを目安）に収穫を終わらせる**

→ サツマイモは熱帯原産の植物で寒さに弱く、腐敗や品質低下につながります

➤ **サツマイモは「投げない、落とさない、ぶつけない」**

→ イモの打ち傷から菌が入り腐敗します（10cmの高さから落としたイモは10個中4個腐敗【農研機構調査データ】）。丁寧に扱きましょう。

★収穫後（キュアリング処理後）は出荷まで、サツマイモに適した貯蔵環境（温度13～16℃、湿度90～95%）で保存し、低温害や乾燥害を防ぎましょう。

※ 9℃以下の長期貯蔵では変色や腐敗などの低温害が発生します。

パイプハウスや屋内で、

- ・ 透明ビニール＋発布スチロール
- ・ 電熱線＋気泡緩衝材＋毛布

によりコンテナを被覆し、簡易貯蔵を行う方法もあります。

※あくまで簡易的な方法のため、長期保存を行う場合、低温害や乾燥害の発生リスクが高まります。



図2 パイプハウスでの保存（日中の気温が高い時期は、気温に合わせて被覆を外す）

◇◇ 秋の農作業安全確認運動（主催：農作業安全運動推進宮城県本部） ◇◇

運動期間：令和6年9月1日～令和6年11月30日

運動スローガン：徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策

◎気持ちにゆとりを持って農作業を行い、事故防止に努めましょう